



2015年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団

連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立する修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

昨年度に引き続き、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第1回は、高木郁朗氏をお招きして、現代社会における「共助と連帯」の意義と役割について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

【参考文献】高木郁朗編(2010)『共助と連帯—労働者自主福祉の課題と展望（連合新書）』（教育文化協会刊、現在品切れ中。2015年中に増補改訂版刊行予定）、連合総研(2011)『協同組合の新たな展開—連帯経済の担い手として—』

第1回：共助と連帯

日時 2015年9月26日（土）13：30～15：30

場所 法政大学市谷キャンパス 58年館 877教室

講師：高木 郁朗 氏
日本女子大学名誉教授



高木郁朗（たかぎ いくろう）氏のプロフィール

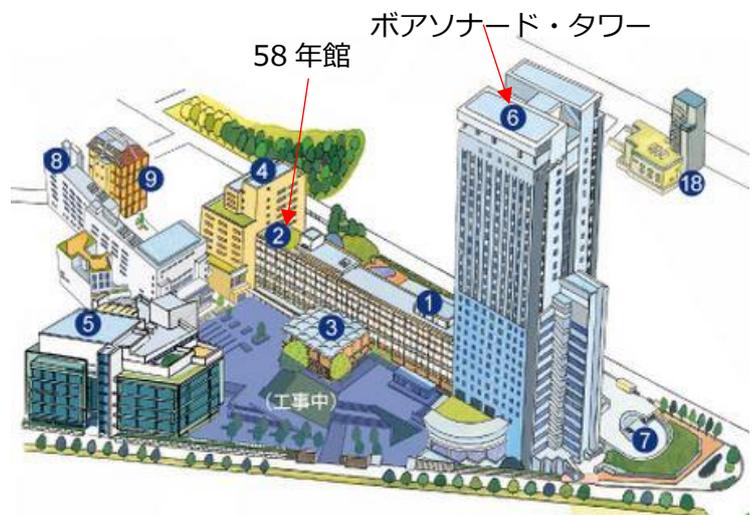
1961年東京大学経済学部卒業。山形大学教授、日本女子大学教授、山口福祉文化大学教授などを歴任。専攻は社会政策、労使関係論。主な著書：『国際労働運動』（日本経済新聞社）、『春闘論』（労働旬報社）、『労働組合の進路』（第一書林）、『新・社会民主主義の挑戦』（労働経済社）、『労働経済と労使関係』（教育文化協会）、『共助と連帯』（教育文化協会）など多数。

プログラム

来聴歓迎

13：30～15：00 講演
15：00～15：30 質疑応答

～お問い合わせ～
連帯社会研究交流センター
(ReCSS)
URL: <http://recss.jp>
e-mail: info@recss.jp



法政大学市谷キャンパス JR飯田橋駅／市ヶ谷駅下車徒歩10分